

	<p>自分自身の勉強にもなり、今後の医療の質を高めることができます。私たちはそれぞれの施設でこのような研究を行ってまいりましたが、残念ながら一つの施設のみでは十分な解析ができないことがしばしばあります。そこで、複数の病院で共同して、胆道・膵臓疾患に関する画像診断、内視鏡手技、治療法の向上と早期発見に関する研究を行います。胆道・膵臓疾患の診断、治療の発展だけでなく、自分たち自身の診療の質を向上させることを目的としています。</p>
研究の方法	<p>患者さんのカルテから、受診した時の症状や各種検査結果、治療内容とその結果などの情報をそれぞれの病院でまとめて、それぞれの病院で個人情報が特定できないような処理（匿名化といいます）を行い、その後データを持ち合っ集積し、解析を行います。</p>
その他	<p>この研究は特に資金を必要とする研究ではなく、企業等からの支援も受けずに 行う研究です。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>当院の研究責任者：札幌東徳洲会病院消化器センター 太田 智之 研究分担者：札幌東徳洲会病院消化器センター 井上 充貴 〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話：011-722-1110（代）</p> <p>研究代表者： 旭川医科大学内科学講座消化器内科学分野 教授 水上 裕輔</p>

作成日：2026年4月10日